

各 位

2022年8月17日
株式会社インプレス

業務効率化に即役立つ
『できる Excel 関数 Office 2021/2019/2016&Microsoft 365 対応』を
2022年8月17日に発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亨）は、広く業務に役立つ関数をさまざまな角度から解説した『できるExcel関数 Office 2021/2019/2016&Microsoft 365対応』を2022年8月17日に発売いたします。



■ Excel関数を使った業務効率化の手法が学べる

Excelの機能の中でも関数は業務の効率化に直結するため、Excelを使ったデータ集計や分析を行う人にとっては、必須の機能となっています。本編は基本編と活用編の2部構成となっており、基本編では関数の基礎的な知識や操作を、活用編ではデータの集計や整形、分析など広く業務に役立つ関数を厳選して解説しています。引数の概要や、必要な前提知識、複数の使用例など、関数にまつわる情報をさまざまな角度から紹介しているため、日々の業務に応用できます。さらに、理解を助ける画面写真や図表、イメージイラストも豊富に掲載して、読みやすさも追求しました。

■ できるシリーズならではの手厚いサポート付き

本書はできるシリーズの「電話サポート」に対応。専門のスタッフが読者からの質問に電話でお答えします。また、操作をすぐに試せる練習用ファイルと、その結果のファイルもダウンロードが可能。さらに、YouTube動画で実際の操作画面を再現。スマートフォンなどで閲覧でき、理解がさらに深まります。

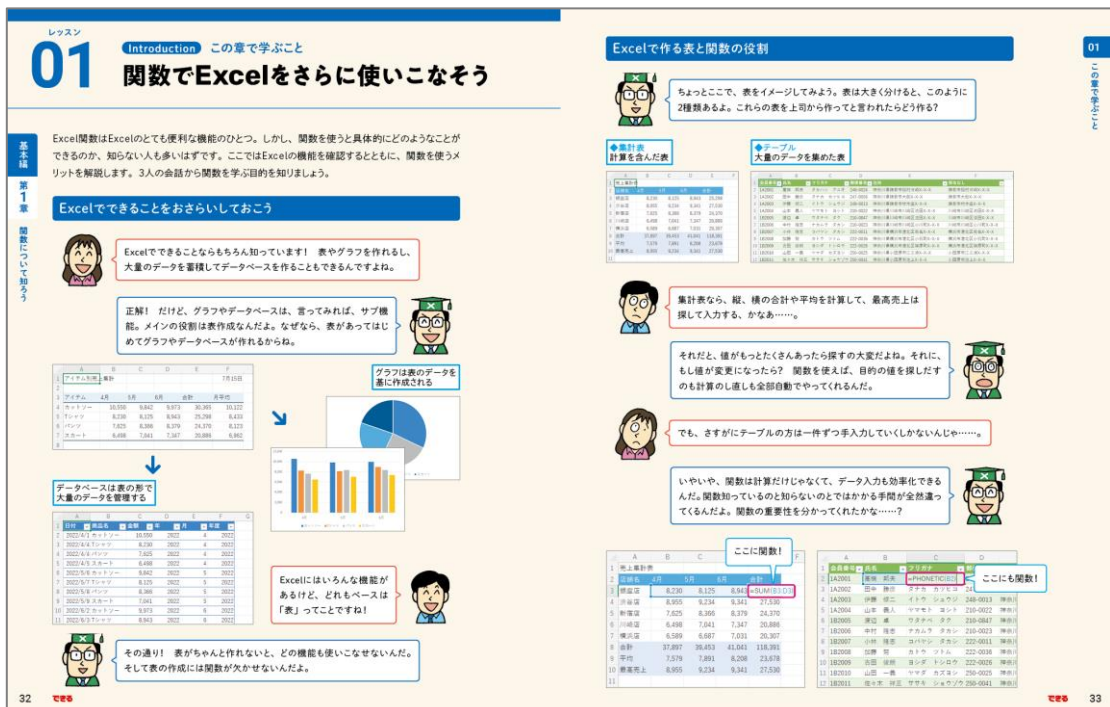
■本書は以下のような方におすすめです

- Excel 関数を初めて学ぶ人
- 仕事で Excel を使う人
- 「Excel の作業をもっと効率化したい」と思っている人
- 関数をもっと活用して、業務効率をよりアップさせたい人
- 新しく追加された関数を使ってみたい人
- VLOOKUP 関数をもっと使いこなしたい人

■紙面イメージ



1つのレッスンにつき、少なくとも1見開きのスペースを割り、さまざまな角度から関数を解説



各章のポイントをキャラクターの「掛け合い」でやさしく解説

44 レッスン データを並べ替えて取り出すには

SORT

SORT関数は、並べ替えができる関数です。元のデータ表はそのまま別の場所にデータを並べ替えて取り出すことができます。Microsoft 365、Excel 2021で利用可能です。

標準/行列 対応バージョン 365 2021

データを並べ替えて取り出す

=SORT(配列, 並べ替えインデックス, 並べ替え順序, 並べ替え基準)

SORT関数は、指定した範囲のデータを指定したルールで並べ替えて取り出します。Excelの「並べ替え」機能では、元の表そのものを並べ替えますが、SORT関数は別の場所に並べ替え後の結果を取り出します。

引数

配列 並べ替えたいデータの範囲を指定します。

並べ替えインデックス 並べ替えの条件となる列を【配列】の範囲の左から数えた番号で指定します。

並べ替え順序 降順（大きい順）に並べ替える場合は「-1」、昇順（小さい順）に並べ替える場合は「1」（省略可）を指定します。

並べ替え基準 並べ替えを行方向で行う（行を入れ替える）場合は「FALSE」（省略可）、列方向で行う（列を入れ替える）場合は「TRUE」を指定します。

キーワード

FALSE P.293

TRUE P.293

配列 P.296

関連する関数

FILTER P.140

UNIQUE P.138

VLOOKUP P.98,P.114,P.120

XLOOKUP P.120

練習用ファイル・L044_SORT.xlsx

使用例 販売日順に並んだ表を商品区分順に並べ替える 商品区分の式

=SORT(A2:E20, 2)

配列 並べ替えインデックス

商品区分順に並べ替えられた表が作成される

使いこなしのヒント

降順で並べ替えるには

並べ替える順序を降順（大きい順）にするには、引数（並べ替え順序）に「-1」を指定します。対象が文字列の場合、降順の指定で50音順の逆順になります。

ポイント

配列 並べ替えたいA列からE列の範囲（A2:E20）を指定します。

並べ替えインデックス 【配列】に指定した範囲の左から2列目の「商品区分」ごとに並べ替えたいので「2」を指定します。

並べ替え順序 昇順（ここでは50音順）に並べ替えるので省略します。

並べ替え基準 行方向で並べ替えるので省略します。

スキルアップ

FILTER関数と組み合わせで抽出したデータを並べ替える

FILTER関数は、指定した条件に合うものを取り出す関数です（レッスン43参照）。これとSORT関数を組み合わせることで、条件に合うものを並べ替えて取り出すことができます。

キッチン家電のみ取り出して価格順に並べ替える（セルG3の式）

=SORT(FILTER(A3:E21, B3:B21=G1), 5)

ポイント

配列 並べ替えの対象をFILTER関数で取り出す（B列がキッチン家電）

並べ替えインデックス FILTER関数で取り出した範囲の左から5列目（価格）を並べ替えの条件にする

並べ替え順序 価格を昇順に並べ替えるので省略します。

並べ替え基準 行方向で並べ替えるので省略します。

自動的に複数行の結果が表示される

FILTER関数を入力するのは1つのセルですが、結果は複数行になります。このように1つの式に対し結果が複数ある場合、スピル機能（レッスン42参照）が働き、隣接するセルに自動的に表示されます。

XLOOKUP関数やSORT関数など最新関数も掲載

■ 書誌情報



書名：できるExcel関数 Office 2021/2019/2016&Microsoft 365対応
 著者：尾崎裕子&できるシリーズ編集部
 発売日：2022年8月17日（水）
 ページ数：304ページ
 サイズ：B5変型判
 定価：1,738円（本体1,580円＋税10%）
 電子版価格：1,738円（本体1,580円＋税10%）※インプレス直販価格
 ISBN：978-4-295-01507-9
 ◆Amazonの書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/4295015075>
 ◆インプレスの書籍情報ページ：<https://book.impress.co.jp/books/1122101036>
 ◆書影ダウンロード：<https://dekiru.net/press/501507.jpg>

■ 目次

- <基本編>
- 第1章 関数について知ろう
 - 第2章 基本関数を使って表を作ろう
 - 第3章 ビジネスに必須の関数をマスターしよう
- <活用編>
- 第4章 データを参照・抽出する
 - 第5章 条件に合わせてデータを集計する
 - 第6章 データを変換・整形する
 - 第7章 日付や時刻を自在に扱う
 - 第8章 データを分析・予測する
 - 第9章 表作成に役立つテクニック関数

■著者プロフィール

尾崎裕子（おざき ゆうこ）

プログラマーの経験を経て、コンピューター関連のインストラクターとなる。企業におけるコンピューター研修指導、資格取得指導、汎用システムのマニュアル作成などにも携わる。現在はコンピューター関連の雑誌や書籍の執筆を中心に活動中。主な著書に『テキパキこなす！ゼットイ作業効率が上がる エクセルの時短テク121』『できるイラストで学ぶ入社1年目からのExcel関数』（インプレス）などがある。

■できるシリーズについて

<https://dekiru.net>

「できる」シリーズは、画面写真をふんだんに使い、操作の流れを紙面に再現した入門書の元祖です。操作に必要な「すべての画面」と「すべての手順」を紙面に掲載しているので、パソコンやインターネットの操作に不慣れな方でも簡単に操作や知識を身に付けられます。楽しみながら操作を学べるように、各レッスンにストーリー性を持たせ、章ごとに知識が身に付く構成になっています。おかげさまで「できる」シリーズは、刊行開始から25周年を迎え、シリーズ累計7,500万部を突破しました。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 7,500 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「SmartGrid ニュースレター」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL: <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。